



# 早稲田大学 立川稲門会会報

2010年11月6日  
第15号  
発行 立川稲門会  
事務局 立川市富士見町  
4-7-16  
志村 順子  
電話 042-522-4763  
FAX 042-522-0612



## 早稲田大学校友会設立125周年記念 ホームカミングデーを開催 鴛海量良前会長 校友功労者として表彰される

10月17日、朝から曇り空ながら暑いくらいの陽気のなか、校友会125周年式典が開催された。応援部が始まり応援部で閉めたが、やはり学生たちのはじける若さを見るだけで心躍る。今年から卒業15年目の校友もホーム・カミングデーの対象である。白井総長がそれぞれの卒業年当時の日本や早稲田を取り巻く歴史をひもといて話される。そういえばそんな時代だったと、参加者もともに歩んできた青春時代を振り返っているようで、あちこちで頷く姿が見られた。

特別稲魂賞はサッカーの岡田武史監督へ贈られた。パッシングなど叩かれるたびに闘志が湧いてきて、これまでやってこられたという。「日本はいいところがいっぱいある。それと同じで他国にもいいところがいっぱいある。外国の人もみな自国を誇りに思っている」と話された。世界で仕事をしなくて、自分の言葉を持っている人だと改めて感じた。

11月に就任なさる鎌田薫新総長も校友へのご挨拶。そして前鴛海量良も都内稲門会会長の校友功労者として表彰された。記念会堂の広い壇上で、真っ赤な椅子に座り感無量のお顔であった。

午後から125記念稲門祭。狭い大隈講堂前のおふれんばかりのにぎわい。125を記念して発足した武蔵村山、東大和、羽村稲門会のご紹介も特設ステージで行われた。三多摩26稲門会が揃いぶみ。さあ、これからという思いだ。

今年は何特別なので、イベントも盛りだくさんである。音楽祭、講演、さまざまなショーやブースに、例年より多い参加者が集まっている。奨学生が随所で手伝いをしている。私たち先輩校友640人が校友会費を払うと、一人の学生の4年間の奨学金支援になる。

サロン・ド・三多摩(8面スナップ参照)のテントも三多摩の憩いの場として、すっかり大隈庭園に馴染んできたようだ。わが立川稲門会のメン

バーも声を張り上げ、今年もいきいきと動いている。立川稲門会は今年もアサヒビール株式会社よりビールを寄贈いただき売上げに貢献している。毎年甘えさせてもらっているがほんとうに有難いことである。

立川稲門会は大学や校友会に関わっている会員が多い。この稲門祭もその一つだ。知恵や時間で貢献し、よく働いている。直に感じた校友会のよさを伝えやすい。逆にいえば地域の声も校友会活動に反映しやすいことだ。母校の地を踏むということはこういうことで、やはり母校は長い歴史をのみこんできたエネルギーを放出しているようだ。

予定通り五時に大隈講堂前で総長はじめ参加者全員校歌を歌い閉会となった。大隈銅像の前まで行って後ろを振り返ると、イチョウ並木にはさまれた大隈講堂の時計のあたりが、夕暮れのなかでひとときわかるく浮かびあがっていた。

志村 順子 (S40・文)



写真 ㊤早稲田大学校友会設立125周年記念、校友功労者受賞者一同。㊦同、ホームカミングデー記念式典会場全景。



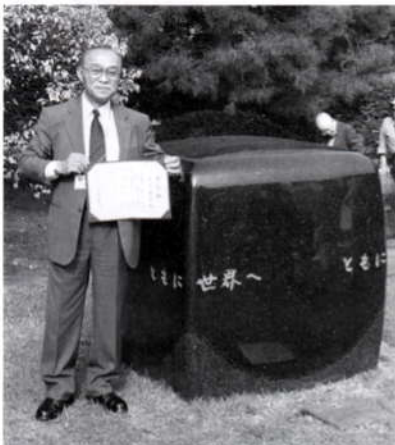
▲ハワイ民族舞踊研究会のフラダンス  
恒例の福引き抽選会。ゲストの田原総一郎氏と司会の露木茂氏▶



▲応援団による応援指導

大隈庭園に校友会125周年記念・記念碑「ともに世界へ ともに未来へ」が建立された。

▼賞状を手にする鷺海量良さん



# 2010稲門祭も盛大に

早稲田大学記念会堂で開催されたホームカミングデーの式典に引き続き「2010稲門祭」も盛大に開催された。

この日の大学キャンパス、大隈講堂、講堂前、大隈庭園はまさに校友で埋め尽くされていた。以下に当日のスナップ集をお届けします。



溢れる人波の▲キャンパスと ▼講堂前



講堂前の特設舞台には、多士済々のゲスト陣、小室哲哉・タモリ・浅井慎平氏らが登壇。



米田税務会計事務所  
米田典弘 (H6・社会)  
立川市高松町三十一-四一四0TEL3F  
TEL (04) 5261-2639  
FAX (04) 5261-2610  
Eメール 959801hk@zeiirishikai.org

東京貿易株式会社  
町田弘 (S35・法)  
中央区八丁堀二一三-一八  
TEL (03) 3555-1700三

大下・広瀬共同会計事務所  
広瀬明夫 (S48・商)  
東大和市中央一五九七-二  
TEL (04) 5621-0458  
FAX (04) 5621-2650

建築設備設計事務所  
三井企画株式会社  
小林和雄 (S47・理工)  
立川市錦町四一五-一五  
TEL (04) 5261-3345  
FAX (04) 5221-2818

医療法人 社団 健医会  
浅谷佳秀 (S62・法)  
立川市西砂町五十三-七  
TEL (04) 5321-4299代

社会保険労務士法人 木村事務所  
木村辰幸 (S63・社会 H21・法研)  
労働保険事務組合 経営者多摩福栄会  
立川市砂町五十一-八二 TEL (04) 5351-3070  
FAX (04) 5351-3073

# 地域社会との関わり

広瀬 俊夫

全国的にも、三多摩地区でも、地域社会への貢献活動が多くなった。それは、稲門会の目的の一つでもある。立川稲門会の会員も地元でボランティア的に色々な関わっている。役員を中心に、私のわかる範囲で紹介いたします。



友好協会 (TIFA) 波

## 秩父札所二十四カ所を巡ってみて

原 健一

散策の会・今年目標「秩父札所三十四カ所巡り」も、10月26日の三十三番・菊水寺、三十四番水潜寺の参詣で完拝の予定。秩父観音霊場は狭い盆地内に三十四カ所の札所が集約され、一巡しても約90キロの行程。板東札所三十三カ所は一部五県の広域に広がっており、時間も費用も相当の物だったのに比べ、手軽な巡拝だったとのこと。7、8日で廻れたので、江戸庶民にとって憧れのスポットだった。我々もバス・タクシー・電車をを使いながら、7回の日帰りを

多野進・小木曾夏樹。たちかわ市民交流大学 和田宏・井川芳栄・米田典弘・広瀬俊夫。インターネッ トマガジン・知の木々舎 横幕玲子・鈴木茂夫。

大岩泰世 柴中会。榎本信行 立川商工会議所顧問弁護士。駕海量良 立川市公の施設指定管理者候補者選定審査会。志村順子 東京家庭裁判所立川支部調停員。中村克久 立川在宅ホスピスボランティア。中村信 猿若句会。錦織文良 AMR会 (アメニティの研究・実践)。鈴木一広 立川まちおん。田中清勝 立川市議会副議長。木村辰幸 東京立川ロータリー

クラブ社会奉仕委員会。森山勇・善弘 元ライオンズクラブ東京地区ガバナール、特別養護老人ホーム フェローホームズ。小林章子 第二回たちかわ男女平等フォーラム実行委員会、第九小学校授業支援。柴香里 立川BBS会 (非行に走った子供・問題を抱える子供の支援)。米田典弘 立川青年会議所副理事長。

私の少ない情報でまとめてみました。誤りも漏れもたくさんあること、お許し下さい。地域のお役に立つ行動の一步になれば幸いです。来年は、これ以外の多くのご報告が出来ますことを楽しみにしております。ぜひ情報をお寄せ下さい。(S 39・文)

繰り返して完拝の見込みだ。各々の霊場にはそれぞれの縁起が伝えられているが、現代に生き残る我々にとっては遠い過去の物語。それよりも植物の宝庫といわれる自然、住時を偲ばせる山里の風景と

に道行を楽しんだが、初回は2月23日だった。初回は一番・四満部寺 五番・語歌堂まで。3月は九番・明智寺 十一番・常楽寺。4月は十二番・野坂寺 十九番・神門寺。5月は二十番・岩之上堂から二十五番・久晶寺。6月は二十番・大淵寺 三十番・法雲寺。9月は二十六番・円融寺と三十一番・観音院、三十二番・法性寺。10月は冒頭記載の二カ所の予定。順路や疲れ等の関係で順番通り廻ったわけでもないが、これを「逆打ち」と言って許されているとのこと。一回の歩行距離は10キロく15キロ位。

人情に触れるのが目的だった。今の巡礼路は車の通れる立派な道が殆どだが、その分距離はかなり長くなっている感じだった。また時々敢えてハイキングコースとして残っている古道にも挑んだが、結構辛い行程だった。完拝を前に、そんな日々を振り返り、満足感に浸っているところである。7・8月を除く毎月第三火曜日 (S 34・政経)

## 佐竹茂市郎さん石田波郷俳句大会で特選

11月7日、石田波郷俳句大会の第二回が開催される。この俳句大会に予め応募された句の中から、佐竹茂市郎さんの

「本棚の奥より寒気取り出せり」の句が選者・徳田千鶴子の特選に

## 本棚の奥より寒気取り出せり

積み、今回の受賞に輝いた。

選ばれた。

佐竹さんは長兄の影響で作句を始め、職場や稲門会会員が数名参加している猿若句会などで研鑽を積み、今回の受賞に輝いた。

志村エステート株式会社  
専務取締役 志村 順子 (S 40・文)  
立川市富士見町四一六一一  
TEL (042) 521-0611  
FAX (042) 521-0612

多摩中央葬祭株式会社  
代表取締役 森山 勇 (S 37・政経)  
立川市錦町四一八一三  
TEL (042) 525-1123  
FAX (042) 525-1043

立川駅のお弁当 株式会社 エヌ・アル・イー 中村亭  
代表取締役 中村 克久 (S 36・政経)  
TEL (042) 524-1201  
FAX (042) 526-1200

人材育成・社員研修 ㈲オフィス広瀬  
代表取締役 廣瀬 俊夫 (S 39・文)  
立川市西砂町一六六一三  
TEL (042) 531-2687  
FAX (042) 531-2687

立川税理士法人  
税理士 村野 俊輔 (S 57・政経)  
立川市柴崎町二四一九 村野ビル2F  
TEL (042) 521-8950  
FAX (042) 521-8951

㈲アイ・イー・ピー多摩  
代表取締役 中村 信 (S 38・文)  
立川市曙町二六一〇  
TEL (042) 531-3311  
FAX (042) 531-3311  
Eメール iaptama@ion.ocn.ne.jp

# 発足六年目を迎えました

大上 保 (ラグビーを愛する会)

当会も発足6年目をむかえ、例年、早慶戦(毎年11月23日(祝))、早明戦(毎年12月第一日曜日)を



中心に観戦を行っています。昨年は、早慶戦が稲門会総会日と日程が重なり早明戦のみの観戦となりました。

21年12月6日(日)に早明戦、会場・国立競技場へ。参加者は、鷺海量良、木村辰幸、木村伊志、竹島亜機雄、堤清、堤美代子、富樫稔、長谷川英夫、江本正記、原健一、広瀬俊夫、大上保、以上12名でした。試合終了後には、信濃町駅近くの『山水』にて懇親会を行いました。

本年度は11月23日に早慶戦、12月5日に早明戦が開催される。会員一同こぞって観戦・応援に駆けつける予定です。(S38・教育)

# 愛飲だけでなく健啖ぶりも発揮

長野 長正 (稲酔会)

立川稲酔会は平成10年8月に発足して13年目、今年で通算39回の会を開催して参りました。4月27日市内のハワイアン・ダイニングバーに19名が集って第37回目の稲酔会を開催、6月12日には多摩川沿いの五市の稲門会合同の稲酔会(合同第14回立川第38回)を青梅稲酔会の主催で御岳溪谷沿いの「ゆずの里・勝仙閣」に21名の参加を得て開催し、地元の銘酒「沢の鶴」を川のせせらぎを肴に楽しんで参りました。

立川、昭島、福生、青梅、あきる野五市の合同稲酔会が発足したのは平成13年、各市稲酔会が幹事

# 元気いっぱい歩いていきます

中村 克久 (散策の会)

「散策の会」を立ち上げ第一回として平成16年4月、立川の古村の面影を求めて諏訪神社/芝崎分水路跡/満願寺跡/普濟寺/残堀川/根川等を歩いてから6年以上が経過した。近郊の軽い散策、街道踏破などのテーマを決めたハイクと少し趣を替えた月2回の活動はメンバーの交友関係を深め、各人の心身の健康維持に貢献している。

今年のテーマを決めてのハイクは昨年までの「甲州街道踏破」に続き「秩父札所巡り」に挑戦。一方、軽い散策の方は昨年迄の昭和記念公園を中心とした近郊散策だけでなく、一人では億劫な映画鑑賞などの文化活動を混ぜて第二火

今年度のハイクは昨年までの「甲州街道踏破」に続き「秩父札所巡り」に挑戦。一方、軽い散策の方は昨年迄の昭和記念公園を中心とした近郊散策だけでなく、一人では億劫な映画鑑賞などの文化活動を混ぜて第二火

曜日を楽しんでいる。「秩父札所巡り」は別稿(3面)で紹介することとして、本稿では今年の近郊散策の様子をご報告したい。

1月26日浅草寺参拝後、築地まで歩き、築地で新年会。2月6日吉永小百合主演の映画「あにいも」と鑑賞。3月9日3D映画「アバター」鑑賞。4月13日新宿「未広亭」にて落語鑑賞。5月11日あきる野市の「横沢入里山保全地域」を中心とした散策。6月8日仲代達矢主演の最後の家族の絆を孫との旅で確かめた「春との旅」鑑賞。9月14日昭和記念公園で散策。今後は10月12日浅草寺参拝とスカイツリーを遠望、11月9日無門庵でお茶会を、12月14日昭和記

今年度のハイクは昨年までの「甲州街道踏破」に続き「秩父札所巡り」に挑戦。一方、軽い散策の方は昨年迄の昭和記念公園を中心とした近郊散策だけでなく、一人では億劫な映画鑑賞などの文化活動を混ぜて第二火



念公園散策と忘年会を予定している。盛夏の7・8月は活動を休んだが、その間淋しかったとの声が大きかった。常に10名以上が集うメンバーの大半は70歳を超えているが、皆元気一杯。同年齢の人たちよりも我々は若いというのがメンバーの自慢です。(S36・政経)

# プレリーの後の反省会も楽しみ

裕 寛 (ゴルフ愛好会)

ゴルフ愛好会も、平成8年5月17日に多摩カントリークラブで、旗揚げしてから本年まで14年の実績を積み重ね、コンペ回数は本年6月の開催で28回となりました。平均開催は春、秋の2回ペースで近場のゴルフ場を利用して行っています。現在のメンバーも会の活動の歴史と共に歩み、平均年齢も高くなって来ましたが、昨年は特にS40年代卒を中心に募集して、本年度も含めて九名も増員して会員の若返りが少し達成出来ました。今後の会の存続に大変よろこばしいことです。会員が増えた

非常にバランスがとれたメンバー構成です。ハンディキャップは、平均すると、中心が20台で勿論シングルは2、3人。10台は5、6人で、30台も少しおり、バランス良く楽しくプレーしています。勿

# タスキを繫いで走っています

小林 和雄 (駅伝同好会)

わが駅伝同好会は、2009年11月7日、国立昭和記念公園内で行われた、駅伝カーニバルに参戦した。

さわやかな秋晴れのなか、号砲一発、第一走者小林がスタート、

論優勝者はハンディ上位のレギュラーです。プレーが終了してからがまた楽しみが待っています。立川駅の近くの居酒屋で、表彰と反省の飲み会で一時を過ごすのも、この会の第一のイベントで、そこには先輩後輩もなくゴルフを楽しむ仲間の友情の時間です。(S36・理)

タスキが引き継がれ、年を感じさせない軽快な走りが進む。先行走者の三人が待ち受けるなか、タスキに汗をしみ込ませた最終走者鈴木選手がゴール。お疲れ様でした!



渺々たる太平洋…。「気まぐれで変わりやすい、ちようど人のころのように」とモームが書いた

# 白井総長を囲む 稲門ハワイの集いに参加して

## カラオケサークル発足

佐竹 茂市郎（カラオケサークル）

カラオケサークルは、昨年の総会の際に発会の呼びかけを行い12月に発足しました。

毎月一回、市内のスナックでカラオケを楽しんでいます。原則第

持ち回りで今年には青梅市となったわけです。多摩川沿線には有名な酒蔵も多くまた立派な酒亭も沢山あるので各市幹事会は立派な酒宴を設けて下さいます。近県地区での一泊旅行の会も3回、日帰りツアーで小田原のアサヒビール工場も訪ねて出来たての生ビールを楽しんだりいつも幹事世話役には大

たのでしばらくは忘れていた青春のアルコールの味を懐かしく思い出し最高の宴となりました。12月7日には忘年会を兼ねて第40回目の稲酔会を「がんこ」立川店での開催が決まりました。愛飲家だけでなく美食家の方々も多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。(S32・理工)

四木曜日の6時半からです。カラオケ好きの皆様参加をお待ちしております。連絡は私の携帯(090-5182-4314)までどうぞ。(S51・社会)

その太平洋のど真ん中にハワイはある。東西の人と文化が出会い、融合し、多種多様な、絶妙な文化を醸すハワイ。そのハワイのワイキキで、格式高いロイヤルハワイアンホテルのオーシャンロ

ンで標題の集いが催された。2期8年、母校の総長職を全うされようとする白井総長の慰労会で、校友会が主催した。日本から98名(うち鶴海関係19名)、ハワイ稲門会から12名、計110名だった。立川稲門会からは私のほか中村信ご夫妻、政経の級友岩下禮二郎家族4人(大和市在住)をに

わか仕立ての立川稲門会会員及び家族とし、さらに三多摩関係では小亀輝雄支部長ご夫妻、山下邦康



だけでなく会員のゴルフブレイの平均スコアも当然アップしてきました。また現在の会員のレベルは

初めはゆっくりと、次第にひとりふたりと追い抜いていく。調子はまずまず。公園内を一周して第二走者にタスキをわたす。中継点には人があふれ、自分のチームの走者を見分けるのに苦労する。なんとか見つけてわたすと颯爽と浅谷佳秀君が走り出す。去年より走りがいい。練習の成果が確実に現れている。

公園を半周したところで、第三走者米田典弘君が待ち受ける。練習不足なので自信がないとぼやいていたが、思いのほか軽快に走っているではないか。がんばれ。声援が届いたどうか。待ち受ける最終走者鈴木一廣さん。スムーズに

ご夫妻、府中の小室修一、牧野拳一郎各氏らが参加した。4年前の歓迎会のときと同じように風もなく穏やかな好天気であった。三田義昭(ナレオ稲門会副会長)が開会挨拶をした後、総合司会は露木茂(元フジ)、出演バンドは白石信率いるナレオ・ハワイアンズ、ニューオルリンズ・ジャズクラブの、共にハイレベルのOBバンド。グリーのOBである白井総長もブルー・ハワイを歌って、拍手喝采を浴びた。また、ハワイアンとデキシシーの共演も好評であった。

さらに会報11号で紹介したアラン・アカカのステイール・ギターを中心とした現地のハワイアンバ

到着順は何番だかわからないけれど、とにかく皆で走りきった。タスキを繋いでゴールできたことが、走った皆の満足な気持ちだ。快い疲労感が青空の下で一層さわやかに感じる。今日もビールが旨いぞ。翌月の12月、小生は、出身の理工学部ボート部の同期生と、還暦を記念してホノルルマラソンに出場した。この時期では珍しく快晴のホノルルに参加七名全員がめでたく完走し、ゴールで待ち受ける素敵なワイキキガールにレイをかけてもらった。今年も、あちらこちらで楽しく走ります。(S47・理工)

参加者は互いに記念写真を撮り合い、各稲門会間の交流、食事や会話を楽しみ、また、総長も各テーブルを回って記念撮影に応じるなど、和気藹々とした楽しい慰労パーティーとなった。最後は恒例の「都の西北」。リーダーは何と、皆さん覚えておられるかどうか、8月の納涼パーティに招待した政経5年、元応援部主将山内耕平君(ソフトバンクに内定)。しかも詰め襟りの学ランを着て応援指導をした。都の西北が夜のワイキキビーチに銜した。

なお、白井総長は奥様とお嬢様ご同伴であった。また、前日は懇親ゴルフが催され、総長はホノル



写真撮影は芳川順一(早稲田大学マンドリン楽稲会副会長)さん。

ル空港から直行、夜はハワイの名門レストラン「ウイローズ」で白石信が中心となって前夜祭が行われ約70名が参加した。鶴海 量良(S37・政経)

## Cho cho &amp; Nakkyコンビ結成

小木曾 夏樹

納涼パーティー

## シャンソンで初出場の記

伊藤 暢子

或る日突然に暢子お姉さまから「今年の納涼祭に二人でシャンソンを歌おうよ」との提案にびっくり仰天し腰を抜かす。彼女のシャンソン歴は長く度々のコンサートを経験されているが、私にとって

さる8月9日に開催された納涼パーティーには、新コンビ〈Cho cho & Nakky〉が初登場、シャンソンを熱唱。会場を賛嘆の声で唸らせた。これまでの稲門フラ、本格的フラダンス、ハワイアンソングもあり、暑い夏の一夜を涼しく楽しんだ。

納涼パーティー2010に「シャンソンを唄う」で初出場しましたが、盛大なご声援にパワーを得て、二人とも元気に唄い通すことができました。ありがとうございました。デュエットコンビ・Chocho & Nakky (チョ・チョ&ナツキ)は、国立駅北口にあるそれぞれ別の音楽教室の生徒ですが、互いの教室

「コンビの名前はCho cho & Nakkyよ、デュエットを1曲づつと各々がソロを唄おう、レッスンとピアノは私の先生に御願いしましょうねetc...」

それからは、プロのレッスンとカラオケルームの密室での二人だけの特訓(?)を経て何とか無事に「立川稲門会・納涼祭」のデビューを果たした次第、「歌詞を聞

のそれは咽喉の病のリハビリとボケ防止(暗譜はとも大変なのです...)のために気楽な気持ちで始めたものであり、とても稲門の辛口の諸先輩の前で披露する度胸も腕前もなし。「平にご容赦を...」の願いも虚しくすべては彼女のペースで進む事に相成った次第。

「それは咽喉の病のリハビリとボケ防止(暗譜はとも大変なのです...)のために気楽な気持ちで始めたものであり、とても稲門の辛口の諸先輩の前で披露する度胸も腕前もなし。「平にご容赦を...」の願いも虚しくすべては彼女のペースで進む事に相成った次第。

## 立川稲門会納涼パーティー



発表会に行き来したりしている歌の友です。コンビ名は伊藤(イトウ)暢子(チョウコ)、小木曾(コギン)夏樹(ナツキ)を組み合わせた英語読みにしたのですが、結

構ゴロのいいネイミングになったと思いませんか。それに若者?お笑いコンビ?かとも聞こえ、そこに70をとうに超えたオジサンとオバサンの登場というのもいいかなと思っています(笑)。

15分間を頂きましたが、本番では司会の古川さんの紹介から締めまで14分33秒、与えられた時間内で終わり、事務局にご迷惑をかけるに済みホッとしました。

私たちの出場が、立川稲門会のいろいろな得意分野の人が出てくるきっかけになれば、懇親パーティーはパラエティに富み、さらに盛り上がることでしよう。

これからの元気で楽しく唄い続け、また出場の機会があればうれしいです。(S35・文)

## 納涼パーティーに招かれて

大島 正敬

立川稲門会納涼パーティーに近隣稲門会として参加させていただきました。この納涼パーティーは毎年楽しみにしており、昨年から立川稲門会のフラダンスチーム TOMON WAHINE を目標に結成された府中校友会「ハワイアンを楽しまう会」フラダンスチームともども参加させていただいています。

厳しい残暑の残る夕暮れ時、喉ごし爽やかなビールで喉を潤し、食事を楽しみ、語らい、ハワイアの調べとチームワークのとれた美しいダンスに目を奪われる納涼パーティーのひとつは夏の楽しみでもあります。

初めて参加した頃の納涼パーティーはハワイアンバンドの演奏を中心にフラダンスの入る、南国ムード一杯のパーティーでした。今年のパーティーはハワイアンだけではなくシャンソンも入って、より国際色のあるパーティーとなり、立川稲門会の方々の芸達者ぶりに唯々驚かされるばかりです。

おかげさまで当府中校友会のメンバーも立川稲門会のフラダンスチームのご指導よろしく、昨年より自信をもって一緒にダンスをご披露できたようです。今後さらに練習を積み、より高度な技術によるダンスが披露できるようメンバーも頑張ってくれるものと期待しています。

待っています。

志村会長もおっしゃっていましたが、今年は早稲田大学校友会にあっては設立125周年という節目の年。この節目を記念して、武蔵村山、羽村の両市に稲門会が設立できました。これも大学校友会組織委員会副委員長でもある志村会長のご尽力のおかげです。その両稲門会の幹部の方々を納涼パーティーにお招きできたことも同じ三多摩の稲門会の一員としてうれしい出来事でした。両市とも地政学的にも立川経由なくては広く三多摩各市と交流を広げていけないと思います。今後とも両稲門会の活動活性化のためにも立川稲門会の納涼パーティーという機会を活用させていただけたらというのが近隣稲門会からお願いです。

最後に、納涼パーティーの裏方として頑張っていたいただいた方々に感謝申し上げます。

(府中校友会会長)



フィナーレはアロハ・オエの合唱

# 事務局便り

◆平成21年の12月の役員会から引き継ぎをうけ、月日は押し出されるように過ぎてしまいました。たくさんの方がお力を貸して下さいました。ありがとうございました。

いつもご支援くださる伊藤勲様から今年度も新年会、観桜会、納涼、そして総会と行事のたびに2万円のご寄付をいただきました。またアサヒ飲料の岡田正昭様、アサヒビールの澤田賢一様からも観桜会にたくさん飲み物を差し入れていただき、125周年の稲門祭でも三多摩模擬店に缶ビール4ケースのご寄贈を厚かましくもお願いいたしましたし、毎年ですがご快諾をいただいております。稲門祭プログラムにはゴルフ愛好会の町田弘様の東京貿易から美しい全面広告をいただきました。そしてこの会報ですが、今年も15名の会員の方から名刺広告のご協力をありがとうございます。

◆今回の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度から組織担当役員は会員増に取り組み、事業担当役員は事業の充実を力を注ぎました。年代表をばったり、会員自筆のお誘いメッセージを添えたりと工夫をして未参加の校友に参加を呼びかけました。何人の方からお返事がくるか、出席はどのくらいいただけるかなど新しい方の参加を心待ちにしております。今年卒業した立川在住の新卒業生にも総会のご案内をさしあげました。もっと多くの方の返信をいただきたい、そのためにはどうするかなど、また新しい角度から検討していきたいと思っております。この会報をご覧になったみなさんからご連絡やご参加をいただければうれしい限りです。

◆今年の会報は、校友会設立125周年を一面にいたしました。当日は豪華に賑やかに終わりました。写真は中村信さんです。この会報は毎年の中村信、中村大さんの多大な協力のもと皆さまにお届けしております。ありがとうございました。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

◆今年度の総会後のイベントは「ときめいて、歌」というタイトルで、参加者みなさんと歌うことにいたしました。声を出すことは心がときめくことと思っております。川端博美副会長のピアノ伴奏で練習をしました。「早稲田の栄光」は伴奏譜面が手に入りませんでしたので、CDから伴奏を起こしてくれました。なかなか迫力がありません。それに生のピアノ伴奏は優雅でとても贅沢な時間です。是非一緒に楽しみましょう。

た。写真は中村信さんです。この会報は毎年の中村信、中村大さんの多大な協力のもと皆さまにお届けしております。ありがとうございました。

## 会員拡充活動について

広瀬 俊夫

### 計報

加賀美和夫さん (S 28・法)  
平成21年11月9日逝去  
磯部勉さん (S 27・理工)  
平成21年12月8日逝去。

志村新体制は、役員の担当制で活動力の強化が始まった。立川稲門会の組織強化を志村会長以下11名が中心に展開している。立川市在住の校友会数1080人、校友会費納入者271人、会費納入率25・09%。三多摩ブロック平均24・83%で、ほぼ平均です。立川稲門会は、様々な面で常にリーダー的存在と自負してきたが、会員数では他と変わらない。会員拡充で会員が増えてくれれば良いというだけの考えではない。人間として母校を愛し、少しでもお役に立てたり同じ早稲田で学んだ仲間と、近くで末永く交流が出る機会をぜひ持つてほしいとの熱い思いで未入会の人に働きかけている。

4月の観桜会と、8月の納涼パーティーに、未入会者に働きかけを行った。観桜会には60歳代100名に、志村会長の心を込めたお誘いの文章と、小木曾夏樹 (S・35政経)、和田宏 (S 40・文)、川端博美 (S 49・法) 3人の立川稲門会に入会した時のきっかけと、気持ちを感動的な文章を添付しました。結果は一人が入会してくれました。

8月の納涼パーティーへの案内は前回のことをふり取り、更に入れた。対象を昭和40年〜50年卒 (約55歳〜70歳) に広げ163人に往復ハガキで発送。一枚一枚に「地元の仲間と早稲田の昔にかえりませんか。お待ちいたしております。〇〇町氏名 (近くの担当者)」と手書きした。往復ハガキの返信26通、返信率16%。出席5名入会考えます10名。住所不明の戻りは0。前回より結果が良く少し喜ぶ。それにしても、往復ハガキの返信率16%に愕然とする。個々に様々な事情があるとしても、母校からの案内に返信をお願いいたします。

人生の幸せは、心の通じあえる人たちとの語り合い交流ではないでしょうか。私たち担当者は、少しのおせっかいは承知で今後も工夫し働きかけていきます。(S 39・文)

広報委員会 鷺海量良・小林章子・志村順子・長野長正・中村信・錦織文良・原健一・古川剛久・米田典弘・和田宏 (五十音順) 制作・アート 中村大 (アイ・エー・ピー多摩)

電子制御機器の開発設計  
技術コンサルタント  
株式会社 エルテック  
代表取締役 長野 長正  
(S 32・理工)  
東大和市仲原一三三二  
TEL (042) 566-1033  
FAX (042) 566-1033

TOKYO 大樹法律事務所  
弁護士 榎本 信行  
(S 33・法)  
新宿区新宿一〇一三  
TEL (03) 3354-1966  
FAX (03) 3354-1334

鷺海公認会計士事務所  
公認会計士 鷺海量良  
(S 37・政経)  
立川市曙町二一三二一三  
TEL (042) 527-1691  
FAX (042) 524-1957

同好会連絡先			
稲酔会	古川 剛久	535-0717	
立川散策の会	中村 克久	527-3559	
ゴルフ愛好会	江藤 英彦	574-8835	
駅伝同好会	小林 和雄	526-3245	
ラグビーを愛する会	大上 保	536-0940	
カラオケサークル	佐竹茂市郎	529-8921	

編集後記 上記の広瀬さんらの会員拡充活動への一助にも広報委員会も頑張っています。会報通信、その元となるのは何といつても情報です。両方向の情報発信の心がけましょう。(信)

校友会設立125周年記念祝賀会

立川稲門会会員を代表しての授賞

10月17日午前10時から2010年ホームカミング・デーと併せて行われた記念式典に続き、12時半からリーガロイヤルホテルにて祝賀会が開催された。

参加者は全国の県支部長、副支部長、都内稲門会会長、副会長、幹事長、校友会幹事などおよそ300人。記念式典と同じくキャスター宮川俊二氏(ナレオ稲門会副幹事長)の司会で進められ、校友会会長でもある白井総長と福田代表幹事のご挨拶のあと、校友会功労者13人が登壇。記念式典では代表者一人であったが、ここでは改めて総長から一人ひとりに表彰状が手渡された。

会長、日枝商議員会会長、福田代表幹事らがエンジンの法被を着て登壇し、新潟の校友高澤英介氏寄贈の菊水二斗樽二個の鏡を抜いて宴会が始まった。

最後はもちろん校歌斉唱。稲門祭真つ最中での行事のため一時間でお開きとなり、その後、参加者はそれぞれに稲門祭へ向かった。私も立川稲門会がスタッフに多数参加している、サロン・ド・三多摩に直行、ひと時を楽しんだ。(附記)私の2001年から8年に及ぶ会長在職中、母校創立125周年記念事業募金について、大学から立川稲門会に依頼された1975万円に対し実績は1億5130万円、達成率が全国第一位766%(二位は品川の266%)であったことが主な理由であるが、このたびの校友会功労者



写真 ㊦記念祝賀会の席上で一人ひとりに表彰状が手渡される。㊧記念祝賀会の壇上に功労者十三人が登壇。

松田敬吾(昭島稲門会幹事長)さん撮影。



であったことが主な理由であるが、このたびの校友会功労者

17名(支部関係)のうちの一人に選ばれた。これは偏に立川稲門会会員の大勢の方々のご支援の賜物であり、したがってその間たまたま会長であった私が代表して授賞する榮譽を担ったに過ぎない。この授賞は地方の一稲門会に過ぎない立川稲門会が、母校早稲田大学に優れて貢献したことを大学が認めたことの証しであるから、私は非常に嬉しく、かつ、誇りを持っていただくことにした。会員の皆さまには在職中、会を盛上げていただいたことに心から深く厚く感謝しあげる次第です。ありがとうございます。

篤海 量良(S37・政経)

「稲酔会」発足の経緯

岡田 正昭

立川稲門会に入会したのは平成8年の事でした。アサヒビールの西東京支社長として立川に転動しました。初めての土地でもあり知り合いもいないため何となく侘しい日々を送っていたところ、たまたま得意先より稲門会の事を聞いて、早速入会してみました。当時会長は鈴木健一さんで大変活発に活動されていましたので久しぶりに「都の西北」を歌い早稲田を軸に人の輪が



田を軸に人の輪が

広がりに同時に仕事も順調に運びだしました。もちろん総会・春の昭和記念公園での観桜会等アルコールの出る会合は必ず出席し大いに懇親を図りました。そうした折、今まで個々に開いていた趣味の会を正式な会にし稲門会の活動を更に活発にしようとの話が起りました。ゴルフ・歴史・散策等趣味の会を考えました。立川稲門会の活性化Ⅱコミュニケーションの活性化Ⅱ飲み会とアルコール会社特有の(?)図式がすぐに浮かんできましたので飲む会を提案する事にしました。

何か良い名前をと考えている内に「稲酔会」と思いつき内容より前に満足して提案したところ、意外とスムーズに認められました。発足後1回2回と盛大に開催されコミュニケーションの輪が大いに拡がりました。残念だったのはその後、転勤となり出席出来なくなった事です。しかしその稲酔会も三多摩合同での開催等活動の輪が拡大していることは嬉しい限りです。出来るだけ早い機会にまた出席し都の西北を大いに歌いたいものです。(S43・商)



サロン・ド・三多摩スナッフ集

㊦多摩の銘酒「嘉泉」の樽酒は売れ行き絶好調。㊧じっくり座りこんで飲み始めた人も。㊨はやばやと全商品完売記念。

